

第17回 へき地・地域医療学会 豊かなる地域医療 ～患者も 地域も 医療者も～

2024年6月29日(土)・30日(日)
海運ビルとオンラインのハイブリッド開催

公益社団法人地域医療振興協会主催の第17回へき地・地域医療学会が、去る6月29～30日、海運ビル(東京都千代田区)とオンラインのハイブリッドで開催された。

当学会は第14回から地方支部が主幹となり、第14回九州・沖縄支部、第15回北海道・東北支部、第16回近畿地方支部と、地方から協会の学術活動を活性化していく試みに取り組んできた。

第17回となる今回は東海・北陸支部7県が主幹となり、小田和弘先生(伊豆今井浜病院名誉院長)が大会長を務めた。テーマには「豊かなる地域医療～患者も地域も医療者も～」を掲げ、自治医科大学卒業生がこれまで長い年月をかけて培ってきた地域医療は、実は患者・地域・医療者の協同の上に成り立っているのだという強い思いが込められた。

大会長講演はもちろんのこと、招聘講演、メインシンポジウムの各演者の講演には、豊かなる地域医療への医療者としての思いが溢れ、会場の涙を誘う場面もあった。

各県がそれぞれ担当した一般のセッションは、患者さんのための医療、キャリアパス、医師の働き方改革、Well-being、医療再編等々、今注目されている多様なテーマが取り上げられ、議論が展開された。

1日目の終わりに、2024年度へき地医療功労者表彰、高久賞受賞者授賞式が行われた。へき地医療功労者表彰は義務年限期間修了者を対象として、へき地・地域医療に対する実績を評価し称えるものである。受賞者たちのさらなる地域医療への貢献を期待したい。

学会は2日間を通し425人が参加した。来年開催される第18回へき地・地域医療学会の主幹となるのは、中国・四国支部の予定である。



●小田和弘先生からのメッセージ

<https://www.youtube.com/watch?v=ZDsHsOSFWaQ>

